

electro-harmonix

8-STEP PROGRAM Analog Expression/CV Sequencer

お買い上げいただきありがとうございます。本機は、エフェクトペダル、キーボード等エクスプレッション・ペダル入力できる機器と接続して使えるアナログ・シーケンサーです。エクスプレッション・ペダルのように連続的にパラメーターをコントロールするのではなく、プログラムした値のとおりコントロールすることが可能になります。さらに、CV（コントロール・ボルトテージ）入力を備えた機器にも接続できます。

8-STEP PROGRAMの特徴

- シーケンスの長さを1～8ステップの間で設定
- 4つの方向モード：フォワード、リバース、バウンス、ランダム
- シーケンスのデプスとグライドを調整
- フットスイッチでタップテンポ設定
- 3つの再生モード：ループ、1ショット、ステップ・スルー（マニュアル）
- フットスイッチでシーケンスを直ぐにリセット
- 外部機器でレイト、デプス、グライド、シーケンスの長さをコントロール
- 外部 CV クロックに同期
- 外部 MIDI クロックに同期
- MIDI で全パラメーターを制御
- 付属の TRS ケーブルでエクスプレッション・コントロール、TS ケーブルで CV コントロール（0～5V）
- 最大 10 プリセットの設定保存と呼び出し（別売 8-STEP フットコントローラー併用時には最大 100 プリセット）

【すぐに使ってみよう】

基本的なシーケンス、フォワード・ループ・モード

1. TRS ケーブルをEXP/CV OUTに接続します。CVの場合はTSケーブルを接続します。
2. 接続したケーブルを外部機器のExpression (またはCV) 入力に接続します。
3. 付属のACアダプターを本機に接続します。
4. 本機のRATE スライダーを50%の位置に設定します。
5. 1~8のスライダーを設定します。まずはスライダーを上下交互に設定してみましょう。
6. 本機の他の端子 (FC、EXP IN、MIDI IN) には何も接続されていないことを確認します。
7. PLAY スイッチを押すとスライダーの上のステップLEDが左から右へ点灯します。ステップ8の後はステップ1に戻ります。
8. ステップLEDが移動しない場合、シーケンス長が1になっています。MODE ノブを押してSL LEDのみを点灯させます。次にMODE ノブを右に回して、ディスプレイに8を表示させます。
9. シーケンスが一度再生した後に停止する場合は、1ショット・モードになっています。また、PLAY スイッチを一度押す度に1シーケンスだけ進むようなら、ステップスルー・モードになっています。これらをループ・モードに戻すには、PLAY スイッチを3秒間押し続けてモードを変えます。押し続けるとディスプレイにモードを表示します。Lはループ、1はワンショット、tはステップスルーです。この場合はLを表示するまでこの手順を繰り返します。
10. シーケンスがステップ1~8の順番にならない場合は、ディレクションの設定をフォワードにします。設定するには、MODE ノブを押してDIRのLEDを点灯させ、次に、MODE ノブを回してディスプレイに「F」を表示させます。

タップによるテンポ指定と、タップテンポの分割

1. TAP DIVIDE LED が点灯していないことを確認します。この状態は4分音符モードで、タップしたテンポがシーケンスのテンポになります。1つ以上のTAP DIVIDE LED が点灯している場合、TAP DIVIDE ボタンを押して全てのLEDを消灯させます。
2. TAP フット・スイッチは2度以上踏みます。2回目のタップ後、シーケンスは新たに設定したテンポになります。3度以上タップするとより精度があがります。
3. TAP DIVIDE ボタンを押してシーケンサーのテンポを変えます。本機では常に4分音符のタップが基本です。音符のLEDは、タップした4分音符に対するタイミングです。TAP DIVIDE LED が全部点灯している場合は32分音符です。

シーケンスの方向：フォワード、リバーズ、バウンス、ランダム

1. シーケンス再生中、MODE ノブを押して DIR LED のみを点灯させます。
2. ディスプレイにアルファベットでシーケンスの方向を表示します。
F：フォワード、r：リバーズ、b：バウンス、R：ランダムとなります。
3. MODE ノブで小文字の「r」を選んでリバーズ・モードにします。このモードだと、シーケンスがステップ 8～1 へと逆方向になります。ステップ 1 の後はステップ 8 へ戻り、シーケンスを繰り返します。
4. MODE ノブを 1 クリック右に回して小文字の「b」を選ぶとバウンス・モードになります。シーケンスは、ステップ 1 から 8 に向かった後、ステップ 8 から折り返し 1 に戻ってきます。
5. さらに、MODE ノブを 1 クリック右に回して大文字の「R」を選ぶとランダム・モードになります。このモードでは、各シーケンス・ステップがステップ 1 から、シーケンス長で設定したステップの間でランダムになります。時々同じステップを連続して 2～3 度選んでしまうこともあります。故障ではありません。

シーケンスの長さ（SL：Sequence Length）の設定

シーケンスの長さを設定します。フォワードとバウンスでは、設定したシーケンスの長さで、ステップ 1 から順番に再生します。リバーズでは、設定したシーケンスの長さからステップ 1 に向かって逆に再生します。シーケンスの長さは 1～8 を設定できます。

1. シーケンス再生中に、MODE ノブを押して SL を選ぶと、ディスプレイに 1～8 までの数字を表示します。
2. MODE ノブを回して 4 に設定してみましょう。シーケンスが 1 から 4 の間で動きます。
3. 他の長さも試してみましょう。

グライド（GL：Glide）の設定

グライドは、あるステップのスライダー位置から次のステップのスライダー位置まで変化する時間を設定します。0 にすると、ステップ間の変化が最も速く、9 にすると最も遅くなります。

1. 外部機器で本機でのシーケンス効果が分かるよう設定します。他の機器に対してシーケンサーが働いているときでないと、グライドによる変化は確認できません。
2. MODE ノブを押して GL を選びます。
3. MODE ノブを回して 1～9 を選びます。
4. GL を変更すると、各ステップで設定した値になるまでの速さが変わります。

注意：本機を速いテンポに設定し、グライドも高い設定にすると、シーケンス変化をあまり感じられないかもしれません。グライドはシーケンスのテンポにも関係します。

DEPTH（デプス）の調整

DEPTH は、シーケンスのトータル出力レベルを 0（非出力）から 9（最大）の間で設定します。8 にすると、100% の DEPTH で出力します。9 では 110% ですが、最大レベルに設定したスライダーについては、それ以上増幅はしません。最大値より低く設定したスライダーのみを増幅します。

1. 外部機器でシーケンスの変化が分かるよう本機を設定します。DEPTH を調整していると、他の機器の働きでその違いが分かります。
2. MODE ノブを押し 3 つの LED を全て点灯させます。3 つの LED 全てが点灯しているときは DEPTH モードです。
3. MODE ノブを回して DEPTH を変更します。左に回すと減少し、右に回すと増加します。

再生モードの変更（ループ／ワン・ショット／ステップ・スルー）

本機には 3 つ再生モードがあります。ループでは、シーケンスを繰り返します。ワン・ショットでは、PLAY スイッチを踏むと 1 度だけ再生します。ステップ・スルーでは、本機の内部テンポは無視され、PLAY スイッチを踏む度に 1 ステップずつシーケンスが進みます。シーケンスの最後の次は最初に戻ります。

1. 再生モードを変更するには、PLAY スイッチを 3 秒間踏みます。
2. すると、モードをディスプレイ表示します。「L」はループ (Loop)、「1」はワン・ショット (1 Shot)、「t」はステップ・スルー (Step-Thru) です。少しの間再生モードを表示し、その後は元の表示に戻ります。
3. 再生モードを変更したら、PLAY スイッチを離します。再び変更するには、同じように PLAY スイッチを 3 秒間踏みます。この操作をする毎に再生モードが変更されます。
4. 再生モードが表示されている間に PLAY スイッチを一度離して再度押すと、続けてモードを変更できます。

RESET スイッチ使う

1. RESET スイッチを踏むと、シーケンスは最初のステップに戻ります。
2. シーケンスの方向がフォワードかバウンスの場合は、RESET はステップ 1 に戻ります。
3. シーケンスの方向がリバースの場合は、シーケンスの長さで設定した最大値になります。例えば、シーケンスの方向がリバース、シーケンスの長さが 8 の場合に、RESET スイッチを踏むとステップ 8 になります。
4. シーケンス再生中に RESET スイッチを踏んでも、シーケンスは停止しません。シーケンスは始めに戻って再生を続けます。
5. シーケンス停止中に RESET スイッチを踏むと、シーケンスは始めに戻りますが、再生はしません。

6. MIDI クロックや外部 CV クロックに同期してシーケンスを再生中に、RESET スイッチを踏んでも直ちにシーケンスは再スタートしません。現在のステップの終了を待って、次のステップからシーケンスが再スタートします。これで本機は外部のテンポ制御との同期を保ちます。

エクスプレッション・ペダルを使う

1. エクスプレッション・ペダルは、EXP IN 端子に接続します。使用可能なエクスプレッション・ペダルは、electro-harmonix expression、Boss FV-500L、M-Audio EX-P、Moog EP-2、Roland EV-5、もしくは別の 8-STEP PROGRAM 本体です。TS ケーブルで CV を EXP IN 端子に接続することもできます。使用可能な CV は、0V ~ 5V です。
2. EXP. MODE ボタンでは、エクスプレッション・ペダルが変化させる機能を選びます。選べるのは、RATE (レート) / DEPTH (デプス) / GLIDE (グライド) / SEQUENCE LENGTH (シーケンスの長さ) です。全ての LED が消えている時はオフです。外部 CV クロックについては後の章をご参照ください。
3. 今回は、シーケンスのテンポである RATE を選んでみましょう。EXP. MODE ボタンを押す度にモードが変わります。
4. エクスプレッション・ペダルをカカトからつま先に踏み込むと RATE が大きくなります。カカトの位置では遅く、つま先の位置では、RATE スライダーの設定と同じになります。
5. TAP スイッチで設定したテンポが、エクスプレッション・ペダルのカカトの位置に設定されます。ペダルを踏み込むとテンポが速くなります。
6. この状態で EXP. MODE を 1 回押すと、DEPTH をコントロールできます。エクスプレッション・ペダルを動かすと、シーケンスの全体のデプスが変化します。つま先の位置でデプスは最大です。

エクスプレッション・ペダル・スルーとして使用する

1. エクスプレッション・ペダルを EXP IN 端子に接続します。
2. PLAY スイッチでシーケンスを停止させます。
3. RESET スイッチを踏んでシーケンスをリセットします。
4. EXP. MODE ボタンで DEPTH を選びます。
5. LED が点灯しているスライダーを設定します。スライダーの設定がエクスプレッション・ペダルのつま先の位置です。
6. エクスプレッション・ペダルを動かします。

外部 CV クロックを使用する

1. TS (モノ) ケーブルで、外部クロックソースを本機の EXP IN 端子に接続します。

2. クロック信号は 0V ~ 5V 以外には対応していません。0V 以下では外部クロック信号を正しく読み取れません。
3. 外部クロックの最大周波数は 50Hz です。最小周波数はありません。
4. EXP. MODE ボタンを 3 秒押すと、4 つの LED 全てが点灯して、外部クロック・モードになります。
5. PLAY スイッチを踏んでから、外部クロックを開始します。シーケンスは外部クロックに同期します。
6. EXP. MODE ボタンを押せば外部クロック・モードを終了します。

プリセット・モードにする

1. MODE ノブを約 2 秒押して、ディスプレイに「P」と表示したら離します。
2. 「P」の後プリセット番号を表示します。本機の FC 端子にフットコントローラーが接続されていると、ディスプレイに「F」を表示します。
3. プリセット・モードでは、3 つ全ての MODE LED は消灯します。
4. プリセット・モードを終えるには、MODE ノブを右に回しディスプレイに「E」を表示したら、MODE ノブを押します。

プリセットを呼び出す

1. 別売のフットコントローラーを接続していない場合、本機のみでは最大 10 のプリセットを保存／呼び出しができます。
2. 前述の方法で、プリセット・モードにします。
3. プリセットを呼び出すには、
 - a. MODE ノブを回して、0 ~ 9 のプリセット番号を選びます。新しいプリセットは点滅しています。
 - b. MODE ノブを押すと、新しいプリセット番号とプリセットが呼び出されたことを示す小数点が点灯します。シーケンス再生時にプリセットを呼び出すと、現在のシーケンスが最後まで再生し終わってから新しいプリセットを呼び出します。新しいプリセットの呼び出しを待っている間、ディスプレイが素早く点滅します。
 - c. この時、さらに MODE ノブを回して異なるプリセット番号を選ぶと、次の異なるプリセット番号を呼び出すまで番号が点滅します。
 - d. さらに、スライダーを動かすか、パラメーターを変更すると、小数点が点滅し、呼び出されたプリセットがその後で変更されたと分かります。

プリセットを保存する

1. プリセット・モードにします。

2. プリセットを保存するには、
 - a. 現在プリセットが読み込まれているかどうかに関係なく、MODE ノブを回し、プリセットを保存したい番号を選びます。
 - b. MODE ノブを約 1.5 秒間、押したままにします。3 つの MODE LED とディスプレイが点滅し、プリセットが保存されたことを示します。LED が点滅し始めたら、MODE ノブを離します。

MIDI クロックとの同期

1. マスター機器の MIDI 出力を本機の MIDI IN 端子に接続します。
2. TAP DIVIDE を付点 8 分音符に設定します。MIDI クロックに同期する時は、付点 8 分音符の設定は、実際には 4 分音符の設定となり、MIDI テンポと 1:1 になります。
3. マスター機器の再生ボタンを押すと、MIDI クロックと再生コマンドを認識し、同時にシーケンスを自動的にリセットし、最初のステップからシーケンスの再生を開始します。
4. マスター機器のストップボタンを押すと、本機のシーケンスは停止します。
5. 異なる TAP DIVIDE モードを設定してスピードを変更してみましょう。
ヒント：正確に同期させるためには、MIDI マスターが再生されている時ではなく、一旦停止してから TAP DIVIDE を変更します。こうするとシーケンスが MIDI マスターに確実に同期します。

MIDI コマンドで本機を制御する

全てのパラメーターは、MIDI コントロール・チェンジ (CC) とプログラムチェンジ (PC) で制御できます。例として、RATE を調整し、PLAY スイッチを踏んでみましょう。

1. マスター機器の MIDI 出力を本機の MIDI IN 端子に接続します。
2. 工場出荷時の本機の MIDI チャンネルは 1 です。MIDI マスター機器の MIDI チャンネルも 1 に設定します。
3. MIDI マスター機器の MIDI CC を #24 に設定します。CC#24 には、本機の RATE スライダーが割り当てられています。
4. CC#24 の値を 0 ~ 127 の間で送信します。値が増加すると、本機の RATE も増加します。
5. MIDI 機器の出力で MIDI プログラムチェンジを #100 に設定してみましょう。いくつかの機器では #101 の設定が実際の #100 に相当する場合があります。
6. 本機が MIDI PC#100 を受信すると、本体の PLAY スイッチが踏まれたと認識し、直ちに再生を開始します。再び、PC#100 を受信すると、停止します。
7. 全 MIDI コマンドの割り当てとパラメーターの制御については、本マニュアル最後の MIDI チャートを参照してください。

MIDI チャンネルを変更する

1. RESET スイッチを 3 秒踏むと GL と SL LED が点滅し、ディスプレイに MIDI チャンネルを表示します。
2. そのまま RESET スイッチを踏み続けた状態で、MODE ノブを右に回すと、MIDI チャンネルの数字が大きくなり、逆に回すと小さくなります。
3. チャンネルは 1 ～ 16 を利用できます。本機のディスプレイは 1 桁しか表示できないので、10 以上の MIDI チャンネルは、小数点の点灯で表します。ディスプレイの「2.」は MIDI チャンネル 12 で、「2」は 2 です。「A」では全 MIDI チャンネルを受信できます。
4. 「A」は MODE ノブを右に回すと 16 の次に出てきます。
5. MIDI チャンネルを選択したら、RESET スイッチを離します。MIDI チャンネルは、本体の電源を切っても保存されています。
6. MIDI チャンネルは、全てのプリセットに共通なのでプリセット内には保存できません。

【コントローラー、インジケーター、入出力】

ステップ 1 ～ 8 スライダーと LED

本機のシーケンスは最大 8 ステップです。各ステップのスライダーでエクспレッションや CV レベルを設定できます。スライダーを上にするると出力レベルが大きくなります。エクspレッション・ペダルの代わりに使用する場合、最大 & 最小レンジがエクspレッション・ペダルのつま先（最大） & カカト（最小）と同じです。本機を CV シーケンサーとして使用する場合、出力レンジは 0V（最小）～ 5V（最大）です。

各ステップにはそれぞれ LED があり、実行中のステップが点灯します。例えば、ステップ 3 を実行中ならばその LED が点灯します。同時に実行するステップは 1 つだけなので、LED はいつも 1 つしか点灯しません。

RATE スライダー

RATE スライダーは、本機の内部テンポを設定する 1 つ目の方法です。2 つ目は TAP フット・スイッチで行えます。RATE スライダーを上にするると、シーケンスのテンポ（スピード）が速くなります。RATE スライダーの可変幅は最小 3.5 秒（17BPM）から最大 50Hz（3,000BPM）です。BPM の値は、各ステップを 4 分音符として換算したものです。

テンポを TAP で設定したり、プリセットを呼び出すと、RATE スライダーの位置はシーケン

サーの実際のテンポに反映しなくなります。逆に、TAP やプリセットの呼び出しでテンポを設定した後で、RATE スライダーを変更すると、それまでのテンポを取り消して、再び RATE スライダーの設定が有効になります。

MODE ノブ、MODE LED とディスプレイ

MODE ノブは、プッシュ・スイッチ付きのロータリー・エンコーダーです。このノブで下にある3つの MODE LED を切り替えたり、ディスプレイを使ってエディットできます。

MODE ノブを押して以下の4つのモードを切り替えます。

DEPTH (デプス) : 3つ全ての LED が点灯した状態です。デプスは、エクスペッションや CV 出力の最大振幅を制御し、0～9の範囲で設定します。8に設定されたときに DEPTH100% となり、9では110% となりますが、スライダーの最大値が拡張されるわけではなく、最大値以下に設定されたスライダーを増幅します。0に設定すると、出力しません。MODE ノブを右側に回すと DEPTH 値が増えます。

GL (グライド) : あるステップのスライダー位置から次のステップのスライダー位置まで変化する時間を設定します。0～9の範囲で設定でき、数値が大きいほど効果が分かりやすいでしょう。MODE ノブを右回りに回すと、グライド値が大きくなります。

注 : 速いテンポで GLIDE を大きな設定にすると、シーケンサーの出力振幅を縮小させます。

DIR (ディレクション) : シーケンスの方向を4つから選びます。MODE ノブを右に回すと順に切り替わります。

F (フォワード) : このモードでは、ステップ1からシーケンスの長さ (SL) で設定したステップまで順に進んだあと、ステップ1に戻ります。

r (リバース) : このモードでは、シーケンスの長さ (SL) で設定したステップからステップ1に向かって、逆に再生します。

b (バウンス) : このモードでは、シーケンスの長さ (SL) で設定したステップまで順に進んだあと、折り返して1に戻ります。

R (ランダム) : このモードでは、各シーケンス・ステップがステップ1から、シーケンスの長さ (SL) で設定したステップの間でランダムになります。本機は、時々同じステップを連続して2～3度選んでしまうこともあります。

SL (シーケンス・レングス : 長さ) : シーケンスのステップ数 (長さ) を設定します。1～8の範囲で設定できます。ステップ1から、SLで設定した数字までがシーケンスの長さになる

ります。例えば、SL を 6 に設定すれば、6 ステップのシーケンスになります。最大は 8 ステップです。MODE ノブを右に回すと数値が大きくなります。

プリセットと MODE ノブ

MODE ノブを 2 秒以上押すと、プリセット・モードになります。このモードで、MODE ノブを 1.5 秒以上押すとプリセットを保存できます。

プリセット・モードにする方法：プリセット・モードにするには、MODE ノブを 2 秒以上押します。ディスプレイが「P」を 1.5 秒間表示したら、プリセット・モードです。プリセット・モードの時は、3 つ MODE LED は全て消えます。

プリセットの選択と呼び出し方法：プリセット・モードになったら、MODE ノブを回してプリセットを選びます。右方向に回すと、プリセット番号が大きくなります。呼び出したいプリセット番号になったらノブを押します。呼び出すとディスプレイに小数点が表示されます。呼び出しを取り消すには、現在呼び出されているプリセット番号にしてノブを押します。

プリセット・モードでプリセットが呼び出された状態でMODE ノブを回すと、ディスプレイのプリセット番号が点滅します。現在呼び出されているプリセットと違うプリセット番号の時に点滅します。点滅しているプリセット番号でMODE ノブを押すと、現在のプリセット再生が終わると同時に呼び出します（プリセット・キュー）。

プリセット・キューについて：シーケンスを再生中に次のプリセットを呼び出しても、直ぐには次のプリセットを再生せず、再生中のシーケンスが終わってから次のシーケンスが始まります。次のプリセットを待機中にはディスプレイのプリセット番号が素早く点滅します。この状態になれば、現在再生中のシーケンスが終わり次第次のプリセットを呼び出します。**注意：**本機停止中や、プリセットキューを待っている間に RESET スイッチを踏むと、プリセットはすぐに呼び出せます。

プリセット呼び出しの表示：プリセットを呼び出すと、ディスプレイに小数点を表示します。呼び出した後で設定を変えると（ステップ・スライダーを動かす等）、その小数点が点滅し、読み込んだプリセットの設定が変わったことを表します。その状態でパラメーターをプリセットと同じ設定に戻すと、点滅しなくなります。

プリセットの保存：プリセットを保存するには、まずプリセット・モードになっていることを確認します。MODE ノブを回し、保存したいプリセット番号にします。そこでMODE ノブを約 1.5 秒押します。3 つの MODE LED とディスプレイの文字が点滅すれば保存完了です。

エディットしたプリセットの保存：読み込んだプリセットを編集し、新しいプリセット番号に保存できます。例えば、プリセット 1 を読み込んでから RATE スライダーを動かすと、小数点が点滅します。MODE ノブを回し、別のプリセット番号を選びます。ここではプリセット 2 を選んでみます。すると、小数点と番号両方が点滅します。MODE ノブを 1.5 秒間押して、3 つの MODE LED が点滅したら新しいプリセット番号に保存完了です。

プリセット・モードを終える：プリセット・モードを終えるには、MODE ノブを右に回し、ディスプレイに「E」を表示させます。「E」は「9」の次です。「E」を表示したら、MODE ノブを押します。これで元のモードに戻ります。終える前にプリセットを呼び出した場合は、終えても呼び出したプリセットのパラメーターが有効です。

PLAY スイッチと LED

PLAY スイッチの主な機能は、シーケンサーの再生と停止です。PLAY を踏む度に、シーケンスの再生と停止を繰り返します。シーケンス停止中に PLAY を踏むと、1～8 どのステップで停止していたとしても、シーケンスを直ちに再生します。例えば、シーケンスがステップ 4 で停止している時に、PLAY スイッチを踏むと、シーケンスはステップ 4 から再生します。また、シーケンス再生中に PLAY スイッチを踏むと、どのステップにいてもシーケンスを停止します。もし、ステップ 1 からシーケンスを再生したい場合は、PLAY を踏む前に RESET スイッチを踏みます。

PLAY スイッチの上の緑色の LED は、シーケンスを再生すると点灯し、停止すると消えます。

再生モードを変更する：PLAY スイッチの他の機能は、再生モードの切替です。LOOP (ループ) / 1-SHOT (ワンショット) / STEP-THRU (ステップ・スルー) の 3 つのモードを切り替えられます。モードを切り替えるには、LED ディスプレイに新しいモードが点滅するまで PLAY スイッチを踏みます (約 3 秒)。「L」：LOOP、「1」：1-SHOT、「t」：STEP-THRU、と表示します。モードを表示したら、PLAY スイッチを離します。

注：続けて再生モードを変更する場合は、一度 PLAY スイッチを離してから、再び LED ディスプレイに新しいモードが表示されるまで PLAY スイッチを踏みます (約 3 秒)。各モードについての詳細な解説は以下をご覧ください。

L (ループ)：このモードでは、シーケンスを最初のステップから最後のステップまで順に再生し、再び最初のステップに戻り繰り返し再生します。シーケンスの方向がフォワードかバウンスの場合は、ステップ 1 からシーケンスの長さ (SL) で設定したステップまでを繰り返し再生します。リバースの場合、このモードでは、シーケンスの長さ (SL) で設定したステップからステップ 1 に向かって、逆に繰り返し再

生します。ランダムの場合、ステップ1～シーケンスの長さ(SL)で設定したステップの間で、ランダムな再生を繰り返します。

1 (ワンショット)：このモードでは、シーケンスを1度だけ再生します。再生の方向はループモード同様設定したシーケンスの方向に従います。1度再生するとシーケンスを停止します。

t (ステップスルー)：ステップスルーはマニュアルでシーケンスを進めるモードです。この場合テンポ設定は無視され、PLAYスイッチを踏む毎にシーケンスが1ステップ進みます。再生の方向やループの長さは設定してある通りになります。シーケンスが最後まで行ってPLAYスイッチを踏むと再びループの先頭に戻ります。

リセット・フットスイッチ

RESETスイッチの主な機能はシーケンスのリセットです。RESETスイッチを踏むと、シーケンサーを強制的に最初のステップに戻します。最初のステップは、設定してある再生の方向で決まります。フォワードとバウンスの場合、最初のステップは常にステップ1です。リバースでは、最初のステップは設定したシーケンスの長さに相当するステップになります。ランダムでは、最初のステップはランダムに決まります。

本機が内部テンポで動作している場合は、RATEスライダーやTAPフット・スイッチによる設定に関わらず、RESETスイッチを踏むとシーケンサーは直ちに最初のステップに戻ります。MIDIクロックや外部CVクロックに同期している場合、シーケンスは直ちにはではなく、再生中のステップが終わってから最初のステップに戻ります。これにより、外部クロックの同期から外れることはありません。

MIDIチャンネル設定：もう一つのRESETスイッチの機能は、MIDIチャンネルの表示と設定です。RESETスイッチを3秒程踏むとGLとSLのLEDが点滅して、現在のMIDIチャンネルを表示します。RESETスイッチを踏んだままでMODEノブを回すと、MIDIチャンネルを変更できます。チャンネル1～9まではそのままの数字で、チャンネル10～16では小数点が付きます。これはディスプレイが1桁しかないためです。例えば、チャンネル4は、「4」、チャンネル14は「4.」という具合です。表示が「A」の場合は全てのチャンネルに対応します。MIDIチャンネルを選んだらRESETスイッチを離します。これで新たなMIDIチャンネルの保存ができます。MIDIチャンネルは、本体の電源を切っても保存されています。MIDIチャンネルは、全てのプリセットに共通なのでプリセット内には保存できません。

タップ・フットスイッチ&ビート LED

TAP スイッチでタップ・テンポを設定できます。これにより、RATE コントロールの設定や、プリセットのテンポ、その前に設定したタップテンポを変えられます。テンポを設定するにはTAP スイッチを最低でも2回は踏みます。3回以上踏むとさらに精度が高くなるのでお勧めです。設定できる最長は4秒（15BPM）で、また、最短は0.2秒（300BPM）です。

本機は、3回以上タップするとその時間を平均化します。3回以上タップした場合、始めの2回のタップの間隔に対してそれ以降のタップの間隔が12.5%以内であれば、平均化したタップテンポになります。12.5%以上の異なるタップが新たに2度（前のテンポより新しいテンポの方が速い場合は3度）踏まれると、これを新たなタップテンポと認識し、テンポを更新します。タップの平均化は、最後のタップ後4秒で終了します。4秒後のタイムアウト後、新たに2回タップしたテンポは、直ちにシーケンサーの新しいテンポに反映します。




















タップテンポをシーケンサーのテンポとしてプリセット内に保存することができます。テンポをタップし、シーケンスをプリセットに保存すると、タップしたテンポをプリセットとして保存します。また、プリセットが呼び出されていない（小数点が消灯）状態でテンポをタップし、電源を切って再起動すると、最後にタップしたテンポがシーケンサーのテンポとして設定されます。タップテンポを取り消すには、RATE スライダーを動かします。

TAP スイッチ上にあるビート LED は、テンポが、タップ、RATE スライダー、MIDI クロック、外部 CV クロックのいずれで設定しても、常に現在のテンポで点滅します。

注意：本機が、MIDI クロックや外部 CV クロックに同期している時、TAP フット・スイッチは無視されます。

TAP DIVIDE ボタン & LED

TAP DIVIDE ボタンは、タップテンポを分割して、より速いテンポにできます。5つのLEDがあり、7種のタップ分割モードを設定できます。タップ分割設定は、MIDI クロックとの同期時には MIDI クロックとの同期を保ちながら、MIDI クロックテンポより速くしたり遅くしたりできます。また外部 CV クロックとの同期時には、よりテンポを遅くすることができます。下の図は、各テンポソースに対するタップ分割設定の詳細です。テンポとクロック、そしてタップ分割設定との関係は、灰色の 1/1 比率の欄が基準となります。

TAP DIVIDE LEDS	TAP TEMPO BEAT DIVIDE RATIO (TEMPO RESULT)	MIDI CLOCK BEAT DIVIDE RATIO (TEMPO RESULT)	EXTERNAL CV CLOCK RATIO (PERIOD RESULT)
All LEDs OFF	 = 1/1 (100 BPM)	 = 2/1 (50 BPM)	1/1 (100 mS)
 ON	 = 3/4 (133 BPM)	 = 1/1 (100 BPM)	2/1 (200 mS)
 ON	 = 2/3 (150 BPM)	 = 2/3 (150 BPM)	3/1 (300 mS)
 ON	 = 1/2 (200 BPM)	 = 1/2 (200 BPM)	4/1 (400 mS)
 ON	 = 1/3 (300 BPM)	 = 1/3 (300 BPM)	6/1 (600 mS)
 ON	 = 1/4 (400 BPM)	 = 1/4 (400 BPM)	8/1 (800 mS)
All LEDs ON	 = 1/8 (800 BPM)	 = 1/8 (800 BPM)	16/1 (1600 mS)

EXP. MODE ボタン & LED

EXP. MODE ボタンは、EXP IN に接続されたエクスプレッション・ペダルや CV ソースによりコントロールできる本機の動作モードを選びます。EXP. MODE ボタンを押すたびに、RATE、DEPTH、GLIDE、SEQ LENGTH の4つのモードを切り替えます。外部 CV クロック・モードにするには、4つ全てのLEDが点灯するまで（約3秒間）EXP. MODE ボタンを押します。全てのLEDが点灯したらボタンを離します。これで外部 CV クロック・モードになります。外部 CV クロック・モードを終えるには EXP. MODE ボタンを一度押します。

注意：エクスプレッション・ペダルはカカトの位置は CV ソースの 0V、つま先の位置では CV ソースの 5V に相当します。

EXP. MODE	EXP. MODE の解説												
RATE (レート)	<p>テンポマスターが、RATE スライダー、タップテンポ、MIDI クロックのいずれであっても、外部から本機のテンポをコントロールします。</p> <p>*MIDI クロックがテンポマスターの状態、エクスペッション・ペダルを動かした場合、MIDI クロック・マスターテンポの倍数 (1/8x, 1/4x, 1/2x, 1x, 2x, 4x, 8x, 24x) で変化します。</p> <table border="1" data-bbox="443 521 1388 772"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 521 692 562">テンポマスター</th> <th data-bbox="692 521 1050 562">かかとの位置</th> <th data-bbox="1050 521 1388 562">つま先の位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 562 692 607">RATE スライダー</td> <td data-bbox="692 562 1050 607">RATE スライダー最小値</td> <td data-bbox="1050 562 1388 607">RATE スライダー設定値</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 607 692 689">TAP テンポ</td> <td data-bbox="692 607 1050 689">タップテンポ + TAP DIVIDE 設定</td> <td data-bbox="1050 607 1388 689">48 × (タップテンポ + TAP DIVIDE 設定)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 689 692 772">MIDI クロック *</td> <td data-bbox="692 689 1050 772">1/8 × MIDI マスター・テンポ</td> <td data-bbox="1050 689 1388 772">24 × MIDI マスター・テンポ</td> </tr> </tbody> </table> <p>ステップスルー・モードの場合、エクスペッション・ペダルはシーケンス・ステップの進行に使用できます。ペダルをカカトからつま先へ動かす度にシーケンスが次のステップに進みます。</p>	テンポマスター	かかとの位置	つま先の位置	RATE スライダー	RATE スライダー最小値	RATE スライダー設定値	TAP テンポ	タップテンポ + TAP DIVIDE 設定	48 × (タップテンポ + TAP DIVIDE 設定)	MIDI クロック *	1/8 × MIDI マスター・テンポ	24 × MIDI マスター・テンポ
テンポマスター	かかとの位置	つま先の位置											
RATE スライダー	RATE スライダー最小値	RATE スライダー設定値											
TAP テンポ	タップテンポ + TAP DIVIDE 設定	48 × (タップテンポ + TAP DIVIDE 設定)											
MIDI クロック *	1/8 × MIDI マスター・テンポ	24 × MIDI マスター・テンポ											
DEPTH (デプス)	<p>デプスをよりスムーズに外部コントロールできます。このモードでは、カカト位置でデプス：0、つま先位置で現在のデプス値と同じになります。シーケンスを停止すると、現在のステップの設定範囲でリアルタイムに出力をコントロールできます。</p>												
GLIDE (グライド)	<p>グライドを外部コントロールできます。このモードでは、カカト位置で最も速いグライド設定に、つま先位置で現在のグライド設定に等しくなります。</p>												
SEQ LENGTH (シーケンスの長さ)	<p>シーケンスの長さを外部コントロールできます。カカトの位置ではシーケンスの長さが 1、つま先の位置ではシーケンスの長さが 8 です。外部コントロールするシーケンス長の範囲は、現在のシーケンス長の設定を変更するものではありません。コントロール範囲は常に 1～8 ステップです。</p> <p>ステップスルー・モードの場合、エクスペッション・ペダルでシーケンスをマニュアルで操作できます。カカトの位置ではステップ 1、つま先の位置ではシーケンスの長さで設定した値のステップです。ランダム・モードのような特殊な場合を除き、再生の方向はエクスペッション・ペダルの動きに同期します。</p>												
外部 CV クロック	<p>EXP. MODE ボタンを 3 秒ほど押すと、4 つの LED が全部点いて外部 CV クロック・モードになります。外部クロック信号の最適な範囲は、0V～5V です。外部クロックが 0V から 5V まで変化する度に、シーケンサーのステップが進みます。(1/1 TAP DIVIDE の場合。)</p>												

EXP/CV OUT 端子

シーケンス信号を出力します。他の機器のエクスペッション・ペダル・インプットに接続する場合、本体付属の TRS ケーブルを使用します。本機を CV 入力に接続する場合、ギターシールド等と同じモノ TS ケーブルを使用します。TRS ケーブルを EXP/CV OUT 端子に接続すると本機はエクスペッション・ペダル同様に使えます。(TIP= 出力信号、RING = ツマ先の位置、SLEEVE = カカトの位置) これは、EHX 製品をはじめ、Boss/Roland/Moog/Nord など、業界の多くが採用している TRS 端子の標準的な極性です。

ヒント：Eventide 製品など 3.3V を上限として受け付ける機器で正常に動作させるには、DEPTH を 5 に設定してください。

EXP IN 端子

この端子にエクスペッション・ペダル (TRS) を接続すると、足元で RATE (レート) / DEPTH (デプス) / GLIDE (グライド) / SEQUENCE LENGTH (シーケンスの長さ) をコントロールできます。加えて EXP IN 端子は、TS ケーブルで CV 機器に接続できます。入力可能な CV は 0V ~ 5V です。推奨エクスペッション・ペダルは、EHX Expression Pedal、M-Audio EX-P、Moog EP-2、Roland EV-5 または、Boss FV-500L です。エクスペッション・ペダル端子の極性は、スリーブがカカトの位置 (通常 GND)、リングがツマ先の位置、チップがワイパー (摺動子) に接続されている必要があります。エクスペッション・ペダルの標準的なインピーダンスは 10k ですが、その他の数値のものでもたいてい動作します。

FC 端子

FC 端子に別売の専用フットコントローラーを接続すると、100 個までプリセットを拡張できます。標準的なモノ TS ケーブルで本機と専用フットコントローラーを接続します。専用フットコントローラーは、追加利用可能なプリセット 10 ~ 99 を拡張するだけでなく、プリセットの読み込みや保存も簡単になります。他にも、プリセットの読み込みや保存に、本機をプリセット・モードにする必要もなく、プリセットの編集と作成を素早く行えます。

注意：全 100 プリセットは、フットコントローラー内ではなく本機に保存します。フットコントローラーは、リモートとして動作します。

MIDI IN 端子

エレハモの 45000、ドラムマシン、MIDI コントローラー、キーボード、コンピューターやその他の MIDI 機器の MIDI 出力を本機の MIDI IN 端子に接続できます。本機の MIDI 機能とその詳細な解説については、本マニュアルの MIDI セクションをご参照ください。

9V 電源端子

付属の AC アダプターを接続します。9～9.6VDC、100mA でセンター・マイナスのアダプターが使用可能です。

【プリセットとファクトリーリストア】

本機は最大 100 プリセットを記憶できます。0～9 までの最初の 10 プリセットは、本機のパネルで選べます。残りのプリセットを選ぶには別売の専用フットコントローラー、もしくはMIDIで行います。

保存時に接続されていたエクスプレッション・ペダルの位置を含む全てのパラメーターは、プリセットに保存します。プリセットに保存しない 2 つのパラメーターは、MIDI クロックテンポと、MIDI チャンネルです。本機ではTAP DIVIDE 設定を保存することはできますが、MIDI クロック設定は保存できません。MIDI クロック同期中に保存したプリセットを呼び出した場合、MIDI マスターを本機に接続しマスタークロックを開始することで、本機は全パラメーターを復元し、プリセットを保存したときと同様に動作します。

プリセットの呼び出し

プリセットを呼び出すと、ディスプレイの小数点が点灯します。プリセットが呼び出されていない場合、小数点は消えています。また、プリセット呼び出し後に変更を加えると、小数点が点滅し、プリセットが変更されたことを示します。パラメーターを元に戻すと、小数点の点滅は停止します。

プリセット・キュー

本機がシーケンス再生中に、新しいプリセットを呼び出すと、そのプリセットは直ちには再生が開始されず、現在のシーケンスの再生が終わるまで待機状態となり、現在のプリセットのシーケンス再生終了後、スムーズに新しいプリセットへと移行します。プリセットが待機している間ディスプレイは素早く点滅します。

プリセット・キューを回避したい場合は、プリセットキューになった後RESET スイッチを押します。シーケンスが停止している場合は、プリセットは直ちに呼び出されます。

8-STEP 本体でのプリセットの呼び出し

1. ディスプレイに P と表示されるまで MODE ノブを押し続け、プリセット・モードに入ります。表示したらノブを離します。
2. フットコントローラーを接続していない場合は、ディスプレイに番号を表示します。

この番号はプリセット番号で、フットコントローラーを接続している場合にはFを表示します。

3. MODE ノブを回して番号を変更します。
4. MODE ノブを押してプリセットを呼び出します。シーケンサーが動作中の場合、新しいプリセットはプリセット・キューに置かれ、ディスプレイの番号が素早く点滅します。シーケンサーを停止すると、プリセットを直ちに呼び出します。
5. プリセットが呼び出された後に MODE ノブを回すと、ディスプレイの番号が点滅し、現在表示しているプリセット番号は現在のプリセットではないことを示します。
6. MODE ノブを再度押すと、更に別のプリセットを呼び出せます。新しいプリセットは待機し現在のシーケンスの終了を待ちます。
7. プリセットの呼び出しを取り消す場合、呼び出されたプリセット番頭を表示した状態でもう一度 MODE ノブを押します。
8. プリセット・モードを抜けるには、E と表示するまで MODE ノブを右に回します。表示したら MODE ノブを押します。

専用フットコントローラーでプリセットを呼び出す

1. 専用フットコントローラーの UP と DOWN スイッチを踏みます。スイッチを踏む度に、新しいプリセットがプリセット・キューへ送られると同時に、ディスプレイの番号が増加 (UP) または減少 (DOWN) します。専用フットコントローラーのフットスイッチは踏み続けると10 単位で番号が増減します。
2. 専用フットコントローラーでプリセットを呼び出す別の方法として、SELECT ノブを使用する方法があります。SELECT ノブを回して呼び出したいプリセット番号に合わせた後にSELECT ノブを押してプリセットを呼び出します。
3. プリセットを呼び出すと、本機の小数点が点灯します。専用フットコントローラー上の右端の小数点も同様に点灯し、プリセットが呼び出されたことを示します。
4. プリセットの呼び出しを取り消すには、専用フットコントローラー上の SELECT ノブを再度押します。

MIDI によるプリセットの呼び出し

プログラムチェンジ・メッセージを使う

MIDI コントローラーが本機と同じ MIDI チャンネルに設定されていれば、MIDI プログラムチェンジ・メッセージを受け付け、保存されたプリセットを呼び出せます。例えば、プリセット 10 番を呼び出したい場合、プログラムチェンジ・メッセージ 10 を本機に送信します。

CC・メッセージを使う

本機は、MIDI CC 118 を受信することでプリセットを呼び出すことができます。MIDI CC 118

で送信されるデータ値が呼び出すプリセット番号です。例えば、プリセット 51 番を呼び出したい場合、MIDI CC 118 でデータ値 51 を送信します。100 以上の値を送信すると現在選択されているプリセットの呼び出しを取り消します。

プリセットの保存

本機でプリセットを保存する

1. ディスプレイが P を表示するまで MODE ノブを押し続け、プリセット・モードに入ります。表示したらノブを離します。
2. MODE ノブを回し、保存したいプリセット番号を選びます。
3. 3つのモード LED とディスプレイが点滅するまで MODE ノブを押し続けます。LED が点滅を始めたら、MODE ノブを離します。

専用フットコントローラーでプリセットを保存する

1. 専用フットコントローラーの SELECT ノブを回し、保存したいプリセット番号を選びます。空のプリセット番号では真ん中の小数点が点灯し、プリセットが空であることを示します。
2. 専用フットコントローラーの SELECT ノブを押し続けます。約 3 秒後専用フットコントローラーのディスプレイが点滅します。
3. プリセットが保存できたら SELECT ノブを離します。

MIDI でプリセットを保存する

1. MIDI CC 117 を送信して本機の現在の設定を保存できます。
2. MIDI コントローラーを本機の現在の MIDI チャンネルに合わせます。
3. MIDI CC 117 で送信されるデータ値が保存されるプリセット番号となります。そのプリセット番号に元々保存されていた古いプリセットは上書きされます。例えば、プリセット番号 3 に設定を保存したい場合、MIDI CC 117 でデータ値 3 を送信します。
4. 本機は、MIDI 経由で最大 100 プリセットを保存できます（使用する値は 0～99）。100 以上の値は無視されます。
5. MIDI でプリセットを保存する場合、MIDI メッセージを受信すると直ちに保存するので、ご注意ください。

ファクトリー・リストア

ファクトリー・リストアは、本機の全てのプリセットと設定を消去し、工場出荷時の状態に戻します。

1. 本機の電源を入れます。

2. 本機が、スタートアップ時のLEDアニメーションの間(約4秒間)に、TAPとPLAYスイッチを押し続けます。アニメーションの最後まで、少なくとも1秒間は両方のスイッチを押し続けてください。
3. 押し続けると、ディスプレイにFと表示し、ビート、PLAY、ステップ1を除く全てのLEDが消灯します。
4. ディスプレイにFが表示されたら、両方のスイッチを離します。
5. これで、本機は次の指示を待つモードになりました。ディスプレイに表示されたFと、ビートとPLAY LEDがゆっくりと点滅します。
6. ファクトリー・リストア機能を開始するには、PLAYスイッチを押してください。ファクトリー・リストア実行中は、Fが中スピードで点滅します。ファクトリー・リストアは、約2秒で完了します。一度PLAYスイッチを押すと、ファクトリー・リストアに戻すことはできません。
7. ファクトリー・リストアを実行しない場合は、Fがゆっくりと点滅している間にTAPフット・スイッチを押してください。その場合には作業前の設定を直ちに呼び出します。

【MIDI】

本機は、MIDIクロックの同期に加えて、MIDIコントロールチェンジ(CC)と、プログラムチェンジ(PC)でコントロールできます。100プリセットの呼び出し、保存に加えて、本機の全てのパラメーターはMIDI CCでコントロールできます。全てのボタン、フットスイッチについても、MIDI PCメッセージによってコントロールできます。MIDI PCメッセージでは、全100プリセットを直接呼び出すことが可能です。

MIDIクロック同期とスタート、ストップ、コンティニュー、ソングポジション・メッセージ

本機のシーケンスは、マスターMIDI機器からのMIDIクロックに合わせて動作します。MIDIケーブルを接続しマスター機器の再生を押すと、内部テンポから自動的にMIDIクロック同期へと切り替わります。本機をMIDIクロックテンポが出力される機器(EHX 45000など)へ接続した場合、すぐにMIDIクロックテンポによるコントロールが可能になります。

本機は、MIDIスタート、ストップ、コンティニュー・メッセージに反応します。本機がどのような状態にあっても、MIDI再生コマンドを受信するとシーケンスを先頭にリセットし、受信したMIDIクロックのテンポに同期してシーケンスを開始します。MIDIストップ・コマンドを受信すると、シーケンスは、実行中のステップに関わらず、直ちに停止されます。MIDIストップ・コマンドの後に、MIDIコンティニュー・コマンドを受信すると、停止したところから再生を再開します。

本機は、MIDI ソングポジション・ポインターメッセージ（SPP）に反応し、シーケンス・ステップをマスター MIDI 機器が指定した小節内の正しい位置へ移動させます。この時、TAP DIVIDE 設定も含めて位置が計算されます。コンピューター・プログラムの中には MIDI SPP メッセージを小節ごとに送信するものがありますが、残念ながらこのような場合には、本機のシーケンスとの干渉を引き起こす可能性があります。

MIDI チャンネル

本機は、16 の MIDI チャンネルの中から任意のチャンネルを設定でき、また全チャンネルに反応するよう設定することもできます。ここでは、MIDI チャンネルの表示と、変更の仕方を説明します。

1. GL と SL LED が 2 回ずつの繰り返しで点滅するまで RESET スイッチを押し続けます。DIR LED は消灯した状態になっています。
2. LED の点滅が始まるとディスプレイに MIDI チャンネルを表示します。
3. RESET スイッチを押したまま MODE ノブを右に回すと MIDI チャンネルが増加し、左方向で減少します。
4. 本機を全チャンネルに対して反応させたい場合は、A と表示するまで MODE ノブを右に回します。A とは、全ての（ALL）チャンネルを意味します。
5. チャンネルを指定したら RESET スイッチを離します。これで更新した MIDI チャンネルをメモリー内に保存します。

10～16 の MIDI チャンネルは、小数点と一緒にディスプレイに表示します。本機のディスプレイは 1 桁なので、1 の位を番号で表し、10 を小数点で表します。例えば、MIDI チャンネル 15 は「5.」と表示します。MIDI チャンネル 5 は「5」で小数点はありません。

MIDI チャンネルは、電源を切った後も保存されます。本機は、MIDI チャンネル情報をプリセット内には保存しません。MIDI チャンネルは、全てのプリセットと操作モードに対して適用されます。工場出荷時の設定はチャンネル 1 となっています。

MIDI CC メッセージ

以下の表は、本機が認識できる全ての MIDI CC メッセージと、個々の CC がコントロールする機能をまとめたリストです。スライダー・パラメーターをコントロールする CC メッセージを送信した場合、スライダー位置は本機に設定された値を表すものではなくなります。MIDI CC コマンドを受信した後にそのスライダーを移動した場合、新たに設定されたスライダー位置でパラメーターが置き換えられ、最後に受信した MIDI データによる値は変更されます。

MIDI CC 番号	パラメーター名	機能	データレンジ
4	EXPRESSION PEDAL	EXP.MODE で選んだモードでエクスプレッション・ペダルとして働きます。	0...127
16	STEP 1 SLIDER	ステップ 1 スライダーを調整します。	0...127
17	STEP 2 SLIDER	ステップ 2 スライダーを調整します。	0...127
18	STEP 3 SLIDER	ステップ 3 スライダーを調整します。	0...127
19	STEP 4 SLIDER	ステップ 4 スライダーを調整します。	0...127
20	STEP 5 SLIDER	ステップ 5 スライダーを調整します。	0...127
21	STEP 6 SLIDER	ステップ 6 スライダーを調整します。	0...127
22	STEP 7 SLIDER	ステップ 7 スライダーを調整します。	0...127
23	STEP 8 SLIDER	ステップ 8 スライダーを調整します。	0...127
24	RATE SLIDER	RATE スライダーは、それによってシーケンサーのテンポを制御します。	0...127
25	GL	スムーズにグライド・パラメーターをコントロールします。	0...127
26	DIR	シーケンスの方向を設定します。	0=Forward 1=Reverse 2=Bounce 3=Random
27	SL	シーケンスの長さを設定します。	1...8 最大ステップを設定
28	DEPTH	スムーズに DEPTH (デプス) パラメーターをコントロールします。	0...100=0% to 100%、101...127 最大 127% まで増幅できますが、ステップ・スライダーの最大値を超えて増幅することはできません。
29	TAP DIVIDE	タップ分割を設定します。	0=off or 1/4 note 1=dotted 8th 2=1/4 note triplet 3=8th note 4=8th note triplet 5=16th note 6=32nd note

30	EXP. MODE	エクスプレッション・モードを設定します。	0=off 1=RATE 2=DEPTH 3=GLIDE 4=SEQ LENGTH 5=EXT. CLOCK
31	PLAY MODE	再生モードを設定します。この設定が変更されると、ディスプレイには、新たなモードが表示されます。	0=LOOP 1=1-SHOT 2=STEP-THRU
33	Encoder MODE	エンコーダーモードを設定します	0=GLide 1=DIRection 2=Seq Length 3=DEPTH 4=Preset
34	PLAY FSW	再生と停止を行います。ステップスルー・モードでは 0 と 127 は、どちらもシーケンスを 1 つ進めます。	0=stop 127=start
35	RESET FSW	RESET スイッチを押す。	127=RESET FSW press
36	TAP FSW	TAP スイッチを押す。	127=TAP FSW press
37	TAP DIVIDE BUTTON	TAP DIVIDE ボタンを押す。	127=TAP DIVIDE press
39	EXP. MODE BUTTON	EXP. MODE ボタンを押す。	127=EXP. MODE press
40	ENCORDER MODE BUTTON	ENCORDER MODE ボタンを押す。	127=MODE press
41	Sequencer Step	シーケンサーが停止している、または再生モードがステップスルーに設定されている場合、この CC は、シーケンサーを直ちに強制的に特定のステップへジャンプさせます。シーケンサーが動作中には、この CC は無視されます。	1...8 directly chooses the sequencer step
117	Save Preset	現在の本機の設定を CC メッセージのデータ値で特定されたプリセット番号に保存します。データ値が 100 以上の場合、CC メッセージは無視されます。	0...99= immediately save to preset number equal to value of CC
118	Load Preset	プリセットを呼び出し、または待機させます。プリセット番号は、CC メッセージのデータ値で特定されます。データ値が 100 以上の場合、本機は現在のプリセットの読み込みを取り消します。	0...99= load preset number equal to value of CC. 100...127 =unload preset

MIDI プログラムチェンジ・メッセージ

本機に保存されたプリセットは、外部 MIDI 機器で MIDI プログラムチェンジ・メッセージを使って呼び出すことができます。MIDI PC メッセージは、外部 MIDI 機器と本機とを同じチャンネル、または本機が全てのチャンネルを受け入れるよう設定しなければ受信できません。

注：本マニュアルは、PC メッセージの範囲を 0～127 で解説していますが、いくつかの機器では、1～128 で定義されているものがあります。この場合は、PC 番号を調整する必要があります。

MIDI PC 番号	機能
0 - 99	プログラムチェンジ番号と同じプリセットを呼び出します。 例：プログラムチェンジ 6 でプリセット番号 6 を呼び出します。
100	PLAY スイッチを押す
101	RESET スイッチを押す
102	TAP スイッチを押す
103	TAP DIVIDE ボタンを押す
104	EXpression（エクスプレッション）MODE ボタンを押す
105	Preset Down Load（1つ手前のプリセット番号の呼び出し）プリセットが呼び出されていない場合、現在のプリセット番号を呼び出します。呼び出されている場合1つ手前のプリセット番号が呼び出されます。
106	Preset Up Load（1つ先のプリセット番号の呼び出し）プリセットが呼び出されていない場合、現在のプリセット番号を呼び出します。呼び出されている場合1つ先のプリセット番号が呼び出されます。
107	MODE ボタンを押す
108	Encoder Down（エンコーダ・ダウン）- エンコーダの左方向1クリック分の回転に相当します。
109	Encoder up（エンコーダ・アップ）- エンコーダの右方向1クリック分の回転に相当します。
110	Preset Load（プリセット呼び出し）現在のプリセット番号の呼び出し
111	Preset Un-Load（プリセット呼び出しの取り消し）現在のプリセット番号の呼び出しを取り消します。
112	External CV Clock enable toggle（外部 CV クロックの有効化の切替） - この PC メッセージを受け取ると、CV クロック・モードの有効、無効を切り替えます。

【コンフィギュレーション設定】

設定を変更して2秒以内に、コンフィギュレーション設定を自動的に本体内のフラッシュメモリーに保存します。本機の電源を入れた時の最初の設定は、本機の電源が切られる前の状態にリコールされます。保存されるコンフィギュレーション設定は以下の通りです。

Latest Tap Tempo (最新のタップテンポ)

Last Tempo Source (except MIDI Clock) (MIDI クロックを除くテンポソース)

TAP DIVIDE Mode (タップ分割モード)

Exp. Mode (エクスプレッションモード)

Play Mode (再生モード)

MIDI Channel (MIDI チャンネル)

Glide setting (グライド設定)

Direction setting (シーケンスの方向の設定)

Sequence Length setting (シーケンスの長さの設定)

DEPTH setting (デプスの設定)

Preset Number (プリセット番号)

また、前回の電源オフ時にプリセットが呼び出されていた場合、次回の電源投入時には自動的に最後に呼び出されていたプリセットを呼び出します。コンフィギュレーション設定をデフォルトに戻したい場合、19 ページのファクトリー・リストアの手順に従ってください。

注：ファクトリー・リストアは、全プリセットの消去と、10のファクトリー・プリセットの復元も行います。

MEMO



MEMO





正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション

カスタマーサポート

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11

NEWS日本橋堀留町ビル 10F

TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166

E-MAIL : support@kcmusic.jp